

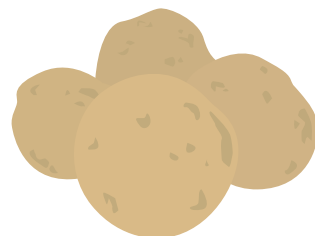
家庭菜園相談室

今月の
テーマ

いろんな品種に挑戦できる春採りがおすすめ！ ～ジャガイモ～

春ジャガイモは完熟前に収穫するので、なめらかさとみずみずしさが特徴です。

秋採りに比べてさまざまな品種があるので、少しずつ育てて味比べてみてはいかがでしょうか？



作型目安

		2月	3月	4月	5月	6月	7月
ジャガイモ	春植え	●	●	▲		■	■

● 植え付け ▲ 芽かき・追肥・土寄せ ■ 収穫

栽培の
ポイント

- ・種イモは、種苗店（ファーマーズマーケットやホームセンター）で購入したイモを使用しましょう。食用のジャガイモや自家用のジャガイモは、ウイルスなどの病気に侵されている場合があります。収量が上がらないことがあります。
- ・イモの大きさは「芽かき」のとき残す芽の数で大きさが決まります。「芽かき」をしないと小さなイモがたくさんでき、「芽かき」を多めにし1本にすると大きなイモができますが、中心部が空洞になったりするので注意しましょう。

作ってみたい
品種

- 男爵薯：粉質でおいしく、作りやすい品種です。根強い人気を誇る品種です。
- インカのめざめ：イモは小粒ですが、カロテンを豊富に含み、栗に似た風味が人気の品種です。
- キタアカリ：ホクホクな食感でえぐみも少なく、ビタミンCを豊富に含み、収穫量が多いのが特徴です。

畑の準備

植え付けの2週間前に完熟たい肥1^{kg}/m²を散布して良く耕し、植え付けの1週間前には化成肥料(N:P:K=8-8-8など)100^g程度を施用し良く耕します。苦土石灰や消石灰はそうか病にかかりやすくなるので散布しません。畝幅60～70^{cm}、畝高10～20^{cm}（水はけの悪い畑では高畝にする）にし、畝の中央にクワで深さ7～10^{cm}程の浅めの植え溝を掘ります。

植え付け

大きなイモは40～50^{cm}程度に切り分けそのまま2～3日おいて、切り口が乾いてから植え付けます。種イモの切り口を下に向けて、植え溝に30^{cm}間隔で植え付けます。切り口を下に向けるのは、芽が上向きに伸びるよう、また種イモが腐りにくいようにするためです。また、切り口からの腐敗を防ぐために乾かしますが、乾かす時間がない場合は「草木灰・シリカ」などを切り口にまぶすことも腐敗を防ぐことに有効です。

芽かき

植え付け2～3週間後、草丈が15^{cm}位になったら、1株2～4本になるように芽かきをします。種イモと一緒に抜けてしまわないように、残す芽の根元を押さえ、抜き取る芽を横に引っ張ります。

追肥・
土寄せ

芽かきが終わったら、追肥(化成肥料30^g/m²)をし、土寄せを行います。クワで根や地下茎を切ってしまうように、株元から少し離れた土をすくい株元に寄せます。土寄せは、除草を兼ねて2週間おきに行うとよいでしょう。

収穫

葉や茎が枯れ始めたら、収穫適期です。(春作では5月下旬頃から)大きいイモほど「す」が入って空洞化してきてしまうので、葉が黄色くなってきた頃がベストです。土が湿っている時に無理に収穫すると、カビが発生したり、イモが傷つき腐りやすくなりますので、晴天が2～3日続いた日に行います。収穫したジャガイモは、かごに入れて風通しの良い冷暗所で保管します。収穫して半月ほど追熟させると甘みとうまみが増します。

病虫害

そうか病、疫病、ニジュウヤホシテントウが主なものになります。特にそうか病は、土壌のpHが低い条件で発生率が低くなるので、アルカリ性の苦土石灰や消石灰を控え、土壌pHを上げないことで病気のリスクを低減できます。

その他、家庭菜園に関する相談は、JAの支店または営農経済センターまでご連絡ください。